

位記口宣註
全

9
73
2552



門 保
卷 2 个 2

伊勢貞丈注 大塚嘉樹附箋
位記口宣註 全



冊末ニハ大塚嘉村考註ト云フ附紙ハ久シクシテ脱離散逸
セシヲ恐レ本文中へ細書シイロハ竹多伊勢氏ノ註ト分ツ。研堂

口宣案

此三字ハ思道ハ表ニリ見出
シニ付タルモノ

古代ハ位ヲ叙スルハ叙位ノ日ニ叙セラシメカ後代ニハ
叙位絶テ行ハズ消息宣下トテ書付ニテ叙セラシ
事ニ成タリ職事ノ職人ノ口宣ヲ書テ消息ヲ添テ上卿
ニ奉ル其納言ナリ又内記ニ宣下セシ其口宣又内記
局ニ留メテ置間其案ヲ寫シテ其人ニ遺ス也官方
外記位方ハ内記ノツカサトリ也口宣案ハ宿紙
書也俗ニ云ウススニ紙也一名紙屋紙ト云

其日ノ上卿首ノ中納言上卿ニ立ラレ
當時ハ及アリテ中納言ノ中ナリ勤王也

上卿庭田中納言

上卿
享保
如故ナル

享保九年三月二日 宣旨

其日ノ上卿首ノ中
立ラレテ中納言
中納言ノ中ニ立

上卿
享保
如比

此三字ハ思ハ表
リ見出



口宣案

上卿庭田中納言

享保九年三月二

此三字ハ思ハ表
リ見出

上卿
享保
如比

冊末ハ大塚
嘉村考註ト云フ附
セシヲ恐レ本文
中ハ細書シイロハ

古代ハ位
叙伍絶テ
事ニ成タ
ニ奉ル無
局ニ留メ
外記位ニ
書ヤ俗ニ

当

塚本村考註ト云フ附紙ハ久シクシテ脱離散逸
本文中ハ細書シイロハ竹ヲ伊勢氏ノ註ト分ツ。研堂、

其日ノ上首ノ中納言上卿ニ立ル
當時ハ後アリテ中納言ノ中ニ勤玉ヲ也

古代ハ位ヲ叙スルハ叙位ノ日ニ叙セリシカ後代ニハ
叙位絶テ行ハズ消息宣下トテ書付ニテ叙セリ
事ニ成タリ職事職入口宣ヲ書テ消息ヲ添テ上卿
ニ奉ル其納言上首又内記ニ宣下セリ其口宣又内記
局ニ留メテ置間其案ヲ寫シテ其人ニ遺ス也官方
外記位方ハ内記ノカサトリ也口宣案ハ宿紙ニ
書也俗ニ云ウススニ紙也一名紙屋紙ト云

其日ノ上首ノ中納言上卿ニ
立ル中納言ノ中ニ勤玉ヲ也

糸

納言

十二月二日 宣上日

藤原忠義

藤原忠義

宣叙從五位下

此位署并奉ノ字之事任官ノ口宣ノ案ニ云フニ同ニ思召之

藏人頭左中辨藤原賴胤奉

口宣案

上卿庭田中納言

古代ハ官ヲ任スル除目日任セシ事ナレ共後代ニ及テ降旨ハ絶テ行ハス消息宜下トテ書付ヲ以テ任セラルル事ニ成タリ官職難義ニ消息宜下ハ職事藏入口宣ヲ書テ消息ヲ添テ上卿ニ奏明ト申也件ノ口宣ノ銘ニ口宣案トアルヲ不知案内ノ人ハ案文ハイカト不審ス事アリ是正文ハ外記局ニ留ル間職事ヨリ案ヲ寫シテ其人ニ達ス也口宣案ハ宿紙ニ書也俗ニウスス之紙ト云ハ名紙屋紙ト云昔紙屋川ニテスキタルスキ返シノ紙也色勿ス墨也今此紙ナシ潔テ色ヲ付ル

享保九年三月二日 宣旨

藤原忠義

藤原忠義

宣叙從五

藏人頭丸

口宣案

上卿庭田中納言

享保九年三月二日

古代公官
及テ降目
ラレ、事ニ
事藏人
ノ上旨
ノ納言又
ト申也件
人公案文
局ニ留ル
口宣案公
ト云昔
ノ基也今

從五位下 藤原忠義

口宣業ノ上卿ノ書様 位記ノ如シ 藤原三王細書

宣任備前守

藏人頭在辨藤賴胤

奉

藏人ノ位署如此文字ヲ割入テ書ノ事ハ行ニ書ケル位署ノ頭高ク上カニ文字ヲ割入テ位署ノ頭ヲ候下テ書ナリ 奉ノ字ハ勅詔ヲウケタマハリタルト云フ事ナリ

從五位下 藤原朝臣忠義

是ニ藤原源等姓ノ字ハ細ク書クナリ

正三位行權中納言源朝臣重孝

是ハ上卿ノ官位姓名也

宣奉

敕對人

宣令任

重孝宣ハフルナリ 宣キハアヒトヨムナリモノト云ハアヒト

是ハ宣旨也 上卿ノ下知テ得テ外記強紙ニ是ヲ調ルナリ 白キ小高權紙也 上卿ノ藏人ノ口宣ニ消息ヲ添テ外記ニ宣旨ヲ書ヘキ由ヲ申ニ付ルナリ 口宣ノ正文ハ外記局ニ納メ置ナリ

宣

此ノ字ハ

位記ノ如シ

口宣出
上卿ノ
藤原ノ
字ヲ
知ル

從五位下藤原

口宣出
上卿
藤原

宣任備前

藏人ノ位
ケレ
低ク
下テ
ハリ
タリ

藏人頭在

是ハ
藤原ノ
字ハ

是ハ
藤原ノ
字ハ

從五位下藤原

是ハ
宣旨也
上卿ノ
下知ヲ
得テ
外
權紙也
上卿ノ
藏人ノ
口宣ニ
消自
付ル
ナリ
口宣ノ
正文ハ
外記局ニ

是ハ
上卿ノ
官位
姓名也

正三位行權中納言

宣奉

敕對人宣

重孝宣
フル
ナリ
宣
キ
ト
ヨ
ナ
リ
モ
ト
云
ハ
シ
ト

重孝宣
フル
ナリ
宣
キ
ト
ヨ
ナ
リ
モ
ト
云
ハ
シ
ト

備前守者

モト
八

享保九年三月二日權大外記中原朝職永奉

小折紙也

大久保備前守

上卿 庭田中納言

職事 葉室頭辨

上卿ハ其日ノ納言ノ上首ナリ
職事ハ藏人ノ頭ナリ

藤原朝臣忠義

右可從五位下

中務ナカツカサ表ヒ節フ兵ヘ欄リ宣ノ勤シ羽ハ衛ノ

精シ誠ニ無ク懈レ夙ニ夜ニ在リ公ノ宜シ授ケ

榮ヒ爵ヲ用ヒ旌ス寵ヲ章ス可カ依リ前ノ件ニ

可依前件主者施行

依前件
者施行

小折紙也

上卿

職事

上卿ハ其日ノ納言ノ職事ハ藏人ノ頭ナリ

藤原朝臣忠

右可從五

中務ナカツカサ表ヒラカ節フシ兵ヒコ欄カド

精シメ誠マコト無ナシ懈ヒヤミ夙スソク夜ヨ

榮サカ爵カク用モチ旌テイ寵メイ章マシ

可依前件主者施行上

可依前件主者施行上

主者施行^{セリ}

享保九年三月二日

トモニ
トモニ

位記紙ハ剛紙ト
云フテ三枚余ナ
リ位記宜旨共
ニ短冊ニ
從在下麻トアリ
軸ハ柳木ナク本ニテ
延元式ニテ改可
秘蔵也

可^{ラス}從五位下トハ可ハ字書ニ許ヤ肯也トアリユルス共ウケカフ共ヨム
凡官ニモ位ニモ勅授奏授判授ノ三ノ差別アリ勅授ハ天子ノ
思召ヲ以テ授ケタマフニ是五位以上ノ事ニ奏授ハ諸官ヨリ大
政官ハ申達ニ大政官奏聞ニテ授タマフ是六位以下ハ位以上
ノ事ニ判授ト云ハ諸官ノ頭以下判断ニテ奏聞セスニテ申
授ルニ是初位ノ事ニ五位以上ハ勅授ニテ天子ノ思召ヲ以テ某ニ
何位ヲ授ヨト勅アルヲ中務卿承リテ其旨ヲ上卿ニ申達ニ
上卿内記ニ申シ達シテ詔書ヲ作ラシメテ上卿ニ上ルヲ上卿受取
テ詔書ヲ内記ニ持タシメテ奏スルハ天子御自筆ニテ年月
月ノ下ニ幾日ト書ケルヲ是ヲ御書ト云御書ニテ返シタマフ

主者施行セマ

享保九年三月

位記紙ハ剛紙ト云フナリ
三枚余ナリ
位記宜旨トモニ
軸ハ柳ホウノ木ト云フナリ
長式ニテハ此ノ如クナリ

位記紙ハ剛紙ト云フナリ
三枚余ナリ
リ位記宜旨トモニ
短冊ニ
從在下麻トアリ
軸ハ柳オホクノ木ニテ
延式ニテハ此ノ如クナリ
祿氏ト

可從五位下トハ可ハ字書ニ許ヤ肯也ト
凡官ニモ位ニモ勅授奏授判授ノ
思召ヲ以テ授ケタマフニ是五位以上
政官ハ申達ニ大政官奏聞ニテ授
ノ事ニ判授ト云ハ諸官ノ頭以下
授ルニ是初位ノ事ニ五位以上ハ勅授
何位ヲ授ヨト勅アルヲ中務卿通
上卿内記ニ申之達ニテ詔書ヲ作ラシ
テ詔書ヲ内記ニ持クシテ奏スルハ
月ノ下ニ幾日ト書クマフ是ヲ御ゴ

○中務卿ニ授ク中務卿更ニ中務太輔ニ仰ス太輔承リテ少輔
ニ渡スヲサ輔受取テ御書ノ詔書ヲハ中務省ニ納メ留メ置テ別
案一通ヲ寫シテ辨官ニ送り辨官ヨリ外記ニ送り外記中務
ヨリ表ル詔書ノ案ノ奥ニ大納言以上ノ姓名ヲ各自筆ニ書セテ
リレヲ大納言奉進ス是ヲ覆奏ト云天子御自筆ニ年号ノ右
ノ方ニ上ノ傍ニ可ノ字ヲ一字書テ返シタマフ是モ御書ト云又制
可トモ云可ノ字ヲ書向キタマフ更ハ奏スル旨ヲケケルニ給フ
義ニ是ヲ外記受取テ大政官ニ納メ置キ別ニ一通ヲ寫シテ諸官
ニ告ケ訖テ辨官ニ付ケテ施行セムル也是古代ノ式也後代ニ其次ヲ
テ略セラルカ可カ從五位下トハ從五位下ヲ御許ニ有テ可ノ字ヲタマフ

事云也

○中務ハ中務省ヨリ申之達スルゾト云事ニテ初ニ中務ノ二字ヲ
置タルニ中務ノ此更ニカレ更ハ右ニ云如シ大内記上卿ノ下知テ
ウケテ詔書ノ趣ヲ以テ位記ヲ作ル也又詔書ノ文ヲ三ノ勅語ナ
リ此五字可削去表節兵欄ト云ヨリ主者施行ト云マテ又語也表ハルニ
トモアラハルトモヨム外ニアラハレテ其ニ見ユレ更ヲ云フ節ハ堅ク
シマリアルヲ云兵ハ武畧ノ兵杖仗ヲ云欄ハ御殿ノ高欄ニ近衛有ノ官
人ハ禁裏守護ノ武官ナレ故文ノカヲ箭等ノ兵仗ヲ帶シ御殿ノ
高欄ノ前ニ祇候スル也兵欄ハ武官ノ番所ト云カ如シ役目ヲ大内記
取ニテテ勤ノ行フト云更ヲ表節兵欄ニ云也江戸ノ御旗本ヲ

○中務卿ニ授ク中務卿更ニ中務太輔ニ仰ス太輔承リテ少輔
ニ渡スヲサ輔受取テ御書ノ詔書ヲハ中務省ニ納メ留メ置テ別
案一通ヲ寫シテ辨官ニ送り辨官ヨリ外記ニ送り外記中務
ヨリ来ル詔書ノ案ノ奥ニ大納言以上ノ姓名ヲ各自筆ニ書ヒテ
リレヲ大納言奉進ス是ヲ覆奏ト云天子御自筆ニ年号ノ右
ノ方ニ上ノ傍ニ百ノ字ヲ一字書テ返シタラフ是モ御書ト云又制
可トモ云可ノ字ヲ書キタラフ更ハ奏スル旨ヲケケルニ給フ
義ニ是ヲ外記受取テ大政官ニ納メ置キ別ニ一通ヲ寫シテ諸官
ニ告ケ訖テ辨官ニ付ケテ施行セムル也是古代ノ式也後代ニ其次ヲ
テ略セラルカ可カ從五位下トハ從五位下ヲ御許ニ有テ可ノ字ヲタラフ

事云也

○中務ハ中務省ヨリ申之達スルゾト云事ニテ初ニ中務ノ二字ヲ
置タルニ中務ノ比更ニカレ更ハ右ニ云如シ大内記上御ノ下知シ
ウケテ詔書ノ趣ヲ以テ位記ヲ作ル也又詔書ノ文ヲニテ勅語ナ
リ此五字可削去
表節兵欄ト云ヨリ王者天子ノ御書ノ文ニテ勅語也表ハシ
トモアラハルトモヨム外ニアラハレテ其ニ見ユレ更ラズフ節ハ堅ク
シマリアルヲ云兵ハ武畧ノ兵杖仗ヲ云欄ハ御殿ノ高欄ニ近衛有ノ官
人ハ禁裏守護ノ武官ナ故文ノカヲ節等ノ兵仗ヲ帶シ御殿ノ
高欄ノ前ニ祇候スル也兵欄ハ武官ノ番所ト云カ如シ役目ヲ大切ニ
取シマリテ勤メ行フト云更テ表節兵欄云也江戸ノ御旗本ヲ

近衛大將ノ御下ニ属スル下司將監相當從六位上ナトノ格ニ取ナシタル文ナリ

○宜勤羽衛トハ宜ハ布ト字書ニアリノブルトヨム勤ハ役目ヲ取行フ也近衛府ノ唐名ヲ羽林ト云フ又親衛ト云フニツクテ合テ羽衛ト云タル也宜勤羽衛ハ武備ノ勤ナ方ヲ近衛府ニ行ヒ宜ルト云事ナリ

○精誠無懈トハ精ハ采ヲツキミラケタル也誠ハ信實也禁裏守護スル事ハ心ヲシラケテ誠ヲ盡シテサモ懈怠由断ナク非常ヲ警固スル也

○夙夜在公トハ夙ハ早朝ナリ夜ハ夜中ナリ公ハオホヤケニテ禁裏

云早朝カラ夜トホシ禁庭ニツメ居テ守番ヲ勤ルナリ是マテノ文ハ位ヲ授カレ人ノ奉公ニ精ヲ出ス事ヲホメタル勅語也

宜授榮爵用旌寵寵多トハ榮ハ辱ノウラニテ身ノホシ面目ニナル事爵ハ位也從五位下ニナル事ヲ叙爵共榮辱

共云從五位下ヨリ以上ハ勅授ナル故面目ニナル也用ハ以ニ同ニ調也旌ハハタトヨムニルニ共アラハス共云義コモリ唐ニテハ忠孝

ノ士貞烈ノ婦ナトアレハ褒表美ニ物ヲ賜ル上ニ又其德行アリサコナ旌ニ書テ其人ノ門ニ立テ普ク世上ノ人ニ知ラスル也寵ハ愛

スル也章ハアヤトヨミテ文ノ字ト同意様子也右ニ云如ク骨ヲ折リテ奉公スル人ナル故從五位下ノ爵ヲ授テコレヲ以テ天子ノ寵愛ニ思心召ス様子ヲ旌ニ書テ其門ニ立テ世上ノ人ニ知ラスルカ如ク彼カ勤

此御印ハ
二寸四分
四方ナリ

此御印ハ天子ノ
御印也文字ハ
天皇御璽ト云
字ナリ

中務表節兵欄宜勤羽衛

精誠無懈夙夜在公宜授

榮爵用旌寵章可依前件

主者施行主以上解ハ前紙ニアリ

本文
一字下リ
享保九年三月二日



是ハ天子ノ
御璽ナリ

藏所ハ嵯峨天皇ノ
御代ニ置テ禁中
ノ事ヲ司ヒシヨリ
以前ハ藏人所ナシテ
中務省禁中ノ事
司ヒ藏人所ヲ置テ
ヨリ中務ノ司トシキ
事トモ信ズ藏人移
テ中務ハハレモナキ
カ如ク然レモ位記表
タナハルモノユ(古式
ノ通リ)中務司トシ
極ニテ中務ノ名ヲ
書ナリ

ル

以三名ハ行四字程サテアレシ
三四位下
正四位下
中務少輔
是ハ承リ
ノ人ナリ

二品中務卿邦永親王宣イ、ワタス也

古代ハ親王ニテモ名ノリノ上ニ臣ノ字ヲ書也是ハナシ

正四位下行中務大輔臣藤原朝臣國廣奉

此西表也
清行ノ也

中務少輔從五位上兼行權大外記少内記臣中原朝職永行

右ノ趣ヲ中務ヨリ太政官一申ニ達スルナリ

正二位行權大納言兼右近衛大將臣

右ノ趣中務ヨリ中達スルニ依テ二度ニ奏聞スル是ヲ復奏ト云此時ノ伺書ニ弥サヤト云

致奉

此御印ハ
二寸四分
四方ナリ

此御印ハ天子ノ
御印也文字ハ
天皇御璽ト云
字ナリ

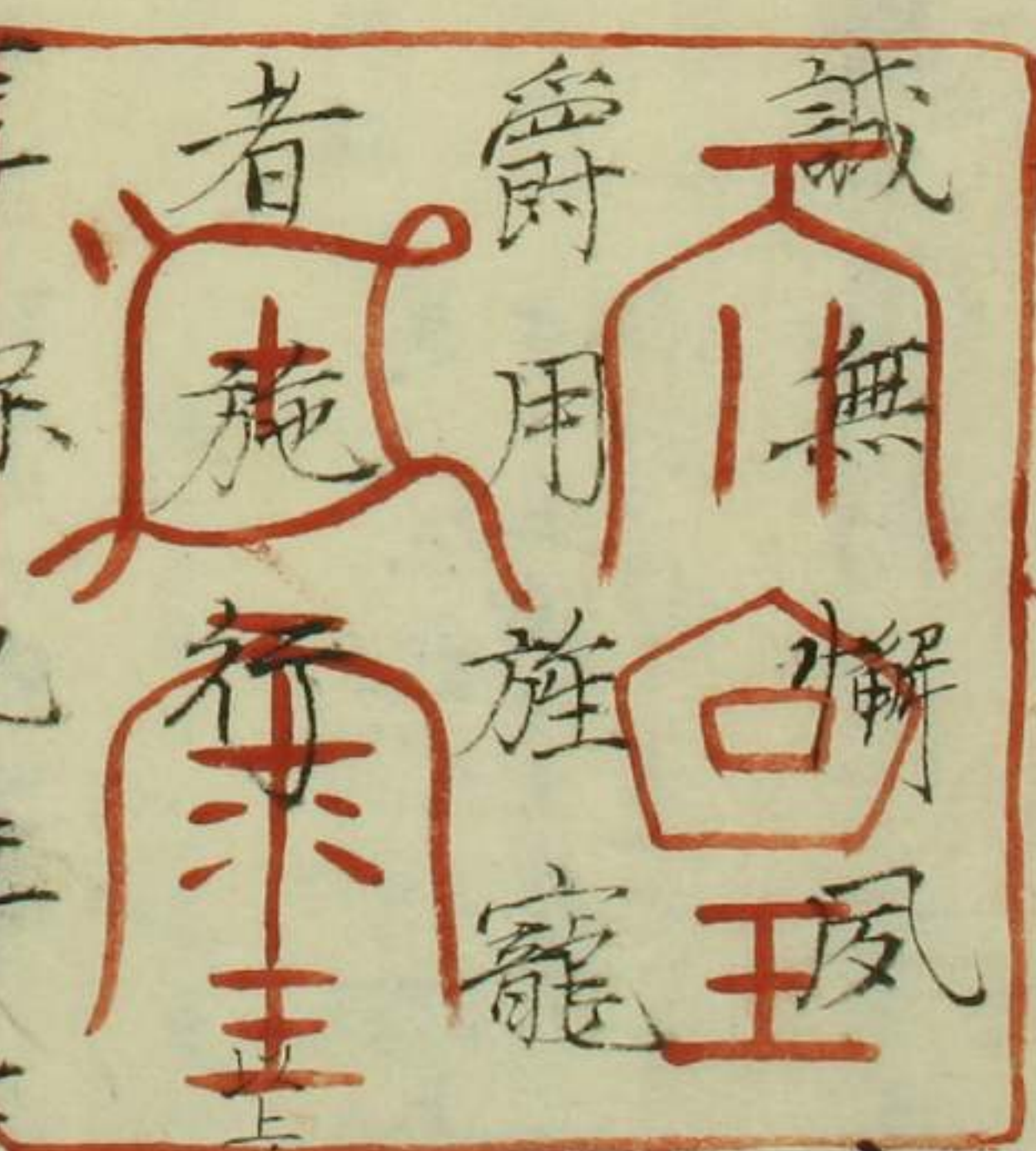
中務表節兵

精誠無懈夙

榮爵用旌寵

主者施行

享祿九年



本文
一字下リ

本文
二字下リ

年号ヨリ一字下リ

此三名ハ行四字程サケテアルヘシ
二品
正四位下
中務少輔
是ハ承リ
ノ人ナリ

古代ハ親王ニテ

此三名ハ行四字程
正四位下
中務少輔
是ハ承リ
ノ人ナリ

藏所嵯峨天皇
兩代ニ遷テ禁中
ノ事ヲ司ヒシヨリ
以前ハ藏人所ナクテ
中務省禁中ノ事
司ヒ藏人所ヲ置テ
ヨリ中務ノ司トシ
事トモ言議合移リ
テ中務ハアトモナキ
カ如シ然レモ位記表
タナタレモノエテ式
ノ通リ中務司トシ
極ニ中務ノ名ヲ
書ナリ

正四位下行中務大輔臣

中務少輔從五位上兼行權大

右、趣中務ヨリ太政官

正二位行權大納言兼右近衛

右、趣中務ヨリ建速スレ依テ二度と奏

正二位行權大納言兼右近衛大將臣
 正二位行權大納言臣
 從二位行權大納言臣
 從二位行權大納言臣
 從二位行權大納言臣
 從二位行權大納言臣
 從二位行權大納言兼左近衛大將臣
 權大納言正三位臣

致季
 惟通
 實陰
 尚房
 常雅
 公詮
 幸教
 房熙

從二位行權中納言兼左衛門督臣
 正三位行權中納言臣
 正三位行權中納言臣
 正三位行權中納言臣
 權中納言從三位臣
 權中納言從三位臣
 權中納言從三位臣
 權中納言從三位臣

隆典
 為信
 基香
 重孝
 公福
 隆成
 光榮
 雅季

忠寄云下ニ實名ナシ
 是其日病アハカ服暇アル外ニモ
 何ノ故アリテ列坐セシメ又人ナラハシ

權中納言從三位臣資時等言

制書如右請奉

制附外施行謹言

享保九年三月二日

制可

月辰時中務少輔從五位上衡權外記內記中原朝職承

右中辨俊將

言ハ大中納言等天子申上レ也納言ハ上ノ御詞ノ
下中渡下言上ル事ヲ上ノ申上レ官ナル云納言
等言上ル也制書如右トハ中務少輔付ラレ事付
右ノ如ク上ノ仰ヲ奉テ右ノ邊ヲ外ニ付テ施行
事ヲ請ヒテテツト也此其間ニル時月日ノ
上ノ傍ニ天子御自筆ニテ可ノ字ヲ書キテ本
也是ヲ制可ト云本書ニハ可ノ字ハカリアリ本
書太政官納ノ置テ其寫ヲ書テ下スニ制
可ト書也内記ハ此位記ヲ書ク役人ニ月日ノ
下ニ名アリ辨官太政官中ノ吟味役ハ二一
内記ニ並ヘテ右中辨ノ名ヲ書ナリ

關白從一位朝臣

太政大臣 關

從一位行左大臣朝臣

右大臣正二位朝臣

內大臣正二位朝臣

無品兵部卿貞建親王

兵部大輔正五位下植房

右大辨 關

告從五位下藤原朝臣忠義奉

兵部省ハ武官事ヲ司ル所也後ニ位ナク兵部卿
同少輔ト大政官(列坐スル)ハ兵部卿同輔ノ各ヲ書キ
載ル也文官ノ位ナク式部省ノ名ヲ書ナリ
大辨ハ大政官中ノ吟味役ハ之官符ノ連署ノ終ニ辨官ノ
名ヲ書也關トスルハ此時辨官中ノ右大辨ヲ指シテ故也

制書如右符到奉行
兵部少輔兼出羽守從五位下孝道

國自從一位上ヲルリ是近ハ大政官ヲウ兵部少輔申シ渡ス類也
右邊ヲ志義ニ告テ仰テ書タル制書ヲ奉ル事右
如シ官符其方到來大其旨ヲ奉リ取行(下事)
官符ト大政官ヨリ出ス書キ物也
兵部省ハ武官ノ事ヲ司ル官也武家(授ル)位凡
二(未)ニ兵部少輔ノ名ヲ書也此孝道ヨリ忠義(申渡)也



享保九年三月二日

大錄
少錄
少錄

是ハ兵部大錄少錄也
錄ハサカシ也兵部省ノ
書キ役也武官ノ使各皆
兵部省ノトリハカラユ(未)
ニ兵部ノ錄ヲ書タル也

右ノ解出射ノ傳と不似る書物ノ上中ノ
相考右ノ通書付ノ相遠成て力内知ル事
相文能存知ノ存自符ノ也

右伊勢貞丈註

右解ノ後ハ陰ノ字ノ多クハ
右ノ附ノ上ノ字ノ多クハ
貞丈ノ解ノ如クモハ

附紙大塚五樹考註

忠寄

右解之趣ハ隨分宜成程也初ハ右ノ時
取斗多クハ元ノ口上モ下モ也其法ハ大ノ解
ノ如クモハ陰ノ字ノ多クハ
志州本ミ疑ミ付ノ誤凡
筆者ノ付ケ哉

文化十三歲四月中旬寫之

源永忠

明治三十年十月初旬一読了

研平

交遊世六の五千八百

六
リ
中

